



研究者名※	中山 真緒 Nakayama Mao	学位※	博士(経済学)
所属※	家政学部 家政経済学科	職名※	講師
連絡先	nakayamam@fc.jwu.ac.jp		
URL	http://www.		
researchmap※	https://researchmap.jp/mao_nakayama		
研究分野※	労働経済学、計量経済学		
研究キーワード※	女性就業、保育サービス、子どもの健康		
共同研究・競争的資金等の研究課題	非就業状態の女性を就業状態に戻す要因についての実証分析（特別研究員奨励費 2017～2020）		
社会貢献・産学官連携活動等			
受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年 大阪大学大学院国際公共政策研究科優秀学位論文賞(修士) ・2021年 労働関係論文優秀賞(労働政策研究・研修機構主催) 		

研究領域	(SDGs)
研究テーマ※	<ul style="list-style-type: none"> ・母親の労働供給の決定に関する研究 ・子どもの健康に関する研究
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 女性の社会進出とその支援が求められている状況は、先進国で共通した深刻な社会問題となっており、特に保育と母親の就業について多くの研究が行われている。一方で、これまでの研究では、保育施設で提供される保育サービスの内容についてはほとんど議論されていない。本研究では、母親がどのような保育サービスを求めているのか、どのようなサービスが就業促進により効果的なのかを明らかにすることを目的としている。 また、子どもの健康は、母親の就業決定にとっても非常に重要な要素の一つである。本研究では特に出生時の健康状態に注目し、乳児期の短期的な影響のみならず、長期的な健康状態、収入といった労働アウトカムに対しても、出生時の健康状態が影響を及ぼすのかを検証している。</p> <p>【応用例、研究の展望】 土曜保育、病後児保育、一時保育、アレルギー対応、といった保育所が提供する通常の保育以外の保育サービスのあり方について検討できる。 低体重で産まれた子どもに対する、行政や病院、学校などの長期的なケアのあり方について議論できる。</p> <p>【研究方法の特色】 独自に入手したアンケート調査や自治体から提供された行政データなどを組み合わせながら、データ分析の手法を用いて分析を行っている。</p>
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・中山真緒(2020)「保育所がもたらす母親の就業促進効果—認可保育所が提供するサービスに注目して」、『日本労働研究雑誌』、No.719、pp.56-73. ・Mao Nakayama&Midori Matsushima(2021) “Age-related changes in the effect of birth weight on child development: findings from a Japanese Longitudinal Survey”, The Japanese Economic Review.
共同研究・外部機関との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・